

谷藤EYE通信

No.45
2013年
(平成25年)



盛岡市玉山区 岩洞湖

院長撮影



医療法人泰明会 谷藤眼科医院

URL <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tanieye/>

院長 谷藤泰寛

民主党野田政権が12月16日の衆議院総選挙で惨敗し、再度の自民党の安倍政権が復活の運びとなりました。民主党政権下でも眼科医療費低減の方向は変わらず、殊に一般診療所向けには厳しいという内容でしたが、今後の消費税の増額に向けて、どのような方向付けになるのか、自己負担のみ増えて、保険給付が制限されるということだけは何としても防がなければならないと思っています。

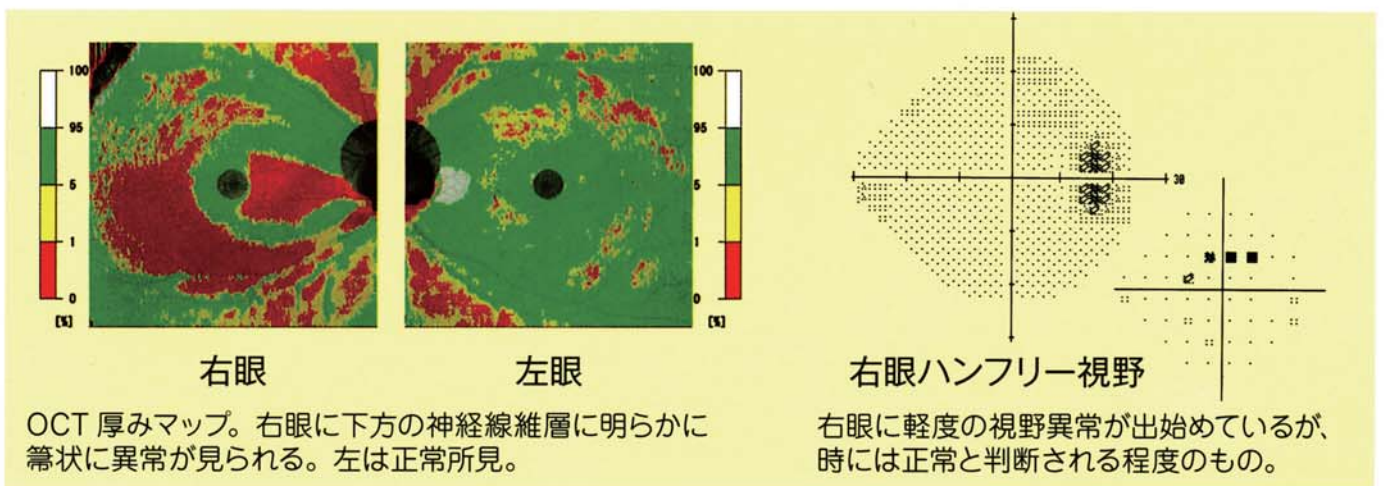
ところで、眼科領域で最多の失明原因は勿論緑内障で第2位が糖尿病眼合併症（網膜症、緑内障など）であります。重篤な糖尿病眼合併症は新糖尿病治療薬の開発もあり、また眼科治療の進歩も合わせて減少傾向にあるようです。これに反して、やはり殆ど自覚症状なしに進行する緑内障による失明は減少しているとは言えませんので、早期発見の為に公的眼科検診が早期に導入されるべきです。日本眼科医会も従来から各方面に働きかけてはいますが、これも予算の壁があり容易ではないようです。

最近OCT（光干渉断層計）という検査を耳にされた方も多いのではないかと思います。非侵襲的（切開や、穿刺等を行わず、従って痛みもない）に近赤外光を用いて生体の網膜・脈絡膜などの断層像を光顕微鏡レベルで観察できる装置で、最近の装置ではその分解能は数マイクロメートル（ $\mu\text{m}=1\text{m}$ の100万分の1）と向上し、網膜の各層やその異常などの画像をその場でとらえることが出

来ます。従って、やはり成人失明の重要な原因となっている加齢黄斑変性や、黄斑孔、糖尿病網膜症、網膜の変性、剥離等の精密診断には今や無くてはならない機器となっています。ところが、近年これが緑内障の早期発見にも大いに有用なことが判明してきました。

従来緑内障の早期発見には、まず眼底検査で視神経乳頭の陥凹状態をみて緑内障を疑い、視野検査（主にハンフリー視野計）で異常が検出されれば眼圧値も参考にして、緑内障という診断が下されます。この視野検査が患者さんの十分な理解と協力がなければ、信頼性の高い結果が得られない自覚検査であるため、小児や全身状態が良くない方には検査自体が困難となることもしばしばありますし、また結果のばらつきが多く、これが難点でもありました。これに反して、先のOCT検査は、他覚的検査で患者さんにとっては、簡単な検査です。

緑内障初期には患者さんの自覚がなく、視野のみの異常があり、これを視野検査上の緑内障と呼ぶことがあります。こうした場合にOCT検査が参考になります。視野異常が出現するより先に緑内障性の異常が出現すると言われていいますので、眼圧が高くても視野異常のない例や左右眼で進行状態が極端に違う例などにも有効です。例えば緑内障の際には主に網膜内層の神経線維層が視神経障害（異常な神経乳頭陥凹）に伴って薄くなることを計測して正常眼と比較して地図状に表記する方法もその一つです。



副院長 寺井典子

平成24年12月20日から4日間、半年ぶりにベトナムへ服部先生を訪ねてボランティア活動に参加してきました。今回は、クアンニン省のHai haというところでの活動となりました。Hai haはハノイから北へ車で6時間の所に位置する小規模都市です。途中には世界遺産のハロン湾があります。4日間と滞在期間が短かったので、空港→病院→空港と世界遺産を横目に移動しました。

Hai haには初めての訪問との事で、白内障が進行している方が多く約半数がECCE（白内障が進行しすぎて器械では碎けない為、大きく切って、そのまま取り出す方法）の患者さんでした。病院は総合病院ですが眼科はありませんが、麻酔科医や看護師さんが休日返上で協力してくれました。今回は日本から私も含めて医師、看護師、医学生の6名のボランティアが参加し、いつもよりも手際よく手術は進みました。

しかし、ベトナムでは良くある事だそうですが、術中に2回停電がありまして鳥取大の池田先生の持参された頭につける懐中電灯が役に立ちました。ベトナムでは器械がすぐに故障しますが、度重なる停電が故障の原因だとわかりました。今回よく使った言葉に「オイゾイオーイ」というのがあります。ベトナム語の「オイゾイオーイ」とは「oh my God」の意味です。

「オイゾイオーイ」と言いながら、毎回起こる想像の範囲を超えた様々な事件、事故に対処しながら117眼の手術を終了することができました。

私は時々参加するだけですが、常に継続的に、さらに発展させて活動されている服部先生の力は偉大だと改めて実感いたしました。貧困の中だからこそ引き立つのかもしれませんが、ベトナム人の生命力の強さに毎回心を打たれます。日本にいと失いがちになるこの感覚を感じながら、これからも自分自身の環境に感謝して日々精進したいと思ったのでした。



手術風景



停電中の手術



市場の子7.7

山ガール?

看護補助 及川めぐみ



私が登山を始めた20代後半は、まだ年配の方達か中高年の男性の方ばかりでしたが、今は山ガールと呼ばれる若い人達があちこち見かけるようになりました。(私も一応山ガール? 年齢制限はあるんでしょうかねえ…)

登山を始めて15年弱(ブランク期間もありますが)。その中で私の一押しは「焼石岳」という山です。日本百名山に載っていないのが不思議なくらい魅力あふれる山で、草原や湖沼、お花畑、そして銀名水のおいしい水!!(ウイスキーや焼酎をその水で割って飲んだらさぞかしうまいと思います) 歩くたびに景色がどんどん変わり、最後の岩だらけの道と急坂がきついのですが、かなりの達成感は得られます。

初めて行った時は、あまりのきつさにもう二度と来ないと思ったものですが、また行きたくなるのですから、なんとも不思議な山です。何度も行くその中で、不思議な出来事がありました。山開きの前日のためか、ほとんど登山客はおらず、雪渓のため道も分かりにくかったのですが、今までの勘と慎重に道を見ながら1時間半ほど歩いて、銀名水小屋前で休憩をとっていました。そしてふっと上をみると、3人グループが登って行くのが見え、私達もすぐ後を追うように登って行きました。上に上がると一面見渡せるのですが、どこにも3人の姿が見えないのです。おかしいなあと思いつつ、頂上ですれ違おうだろと思って歩いて行っても頂上で誰にも会いませんでした。今でも母とあの時の事は不思議だねと話しています。



No.45 : 平成25年(2013年)1月・2月・3月号

 医療法人泰明会 **谷藤眼科医院**

〒020-0127 岩手県盛岡市前九年2丁目2-38
TEL : 019(646)2227 FAX : 019(645)3811